令和７年度　公共工事における
市産品の使用状況に関するアンケート
集計結果

対　象　：　当初契約金額が５００万円以上（税込）の工事
531 件（令和６年度：527件）

回　答　：　351 件（令和６年度：331件）

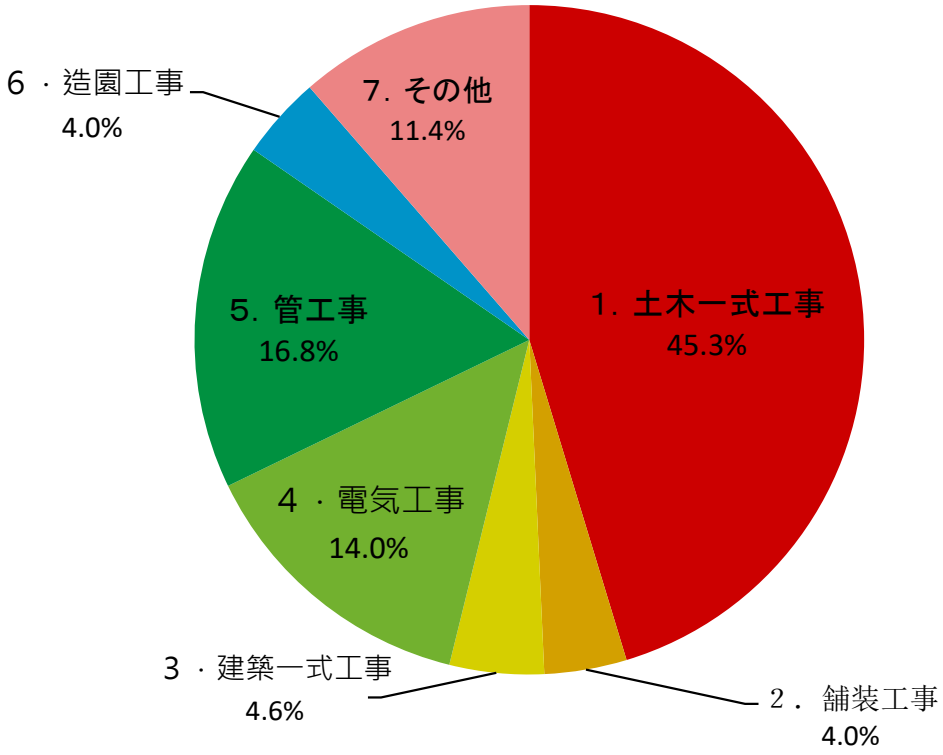
回収率：　66.1 %（令和６年度：62.8 %）

期　間　：　令和７年4月～令和８年3月

問１：今回受注した工事の業種は何ですか？

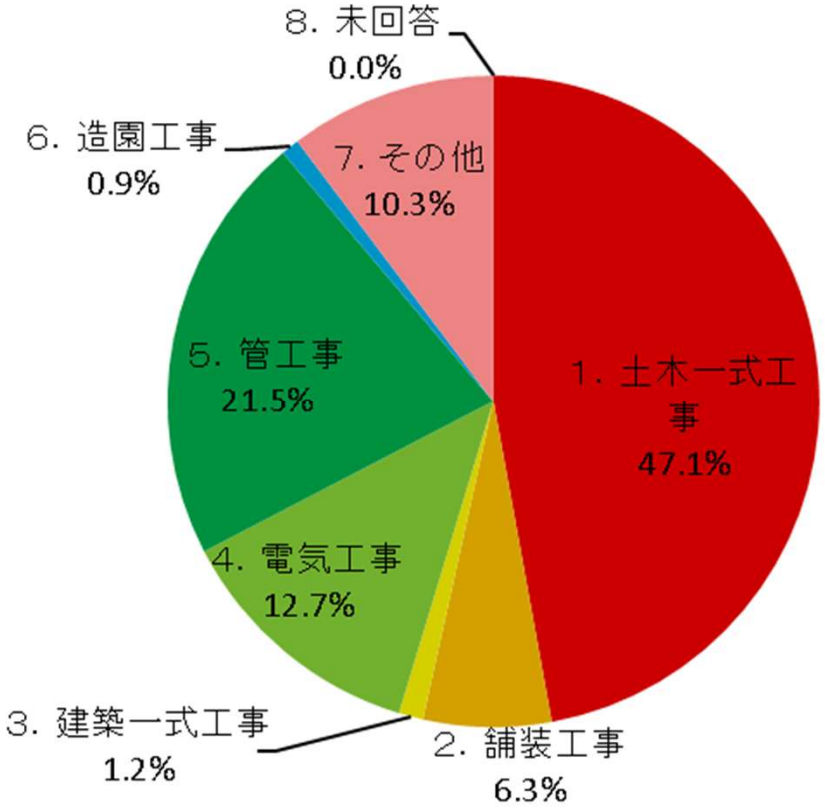
令和7年度

n=351



令和6年度

n=331

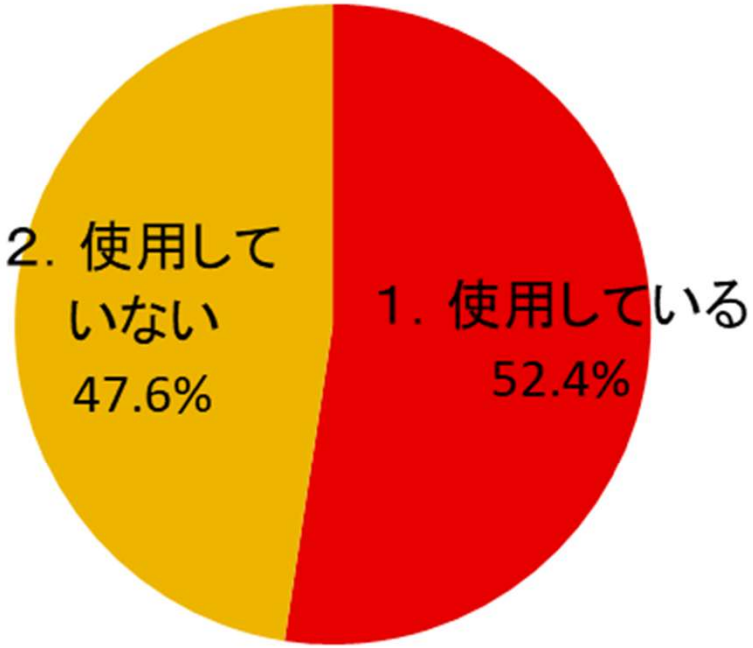


・公共工事の発注で最も多いのは「土木一式工事」である。
　続いて、管工事、電気工事、建築一式工事、舗装工事、造園工事の順となった。

問２：今回の受注工事で市産品を使用していますか？

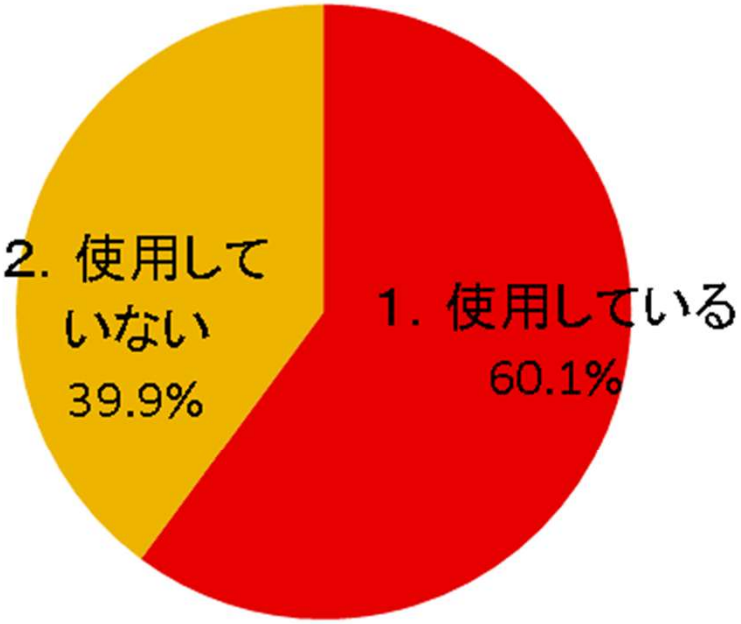
令和7年度

n=351



令和6年度

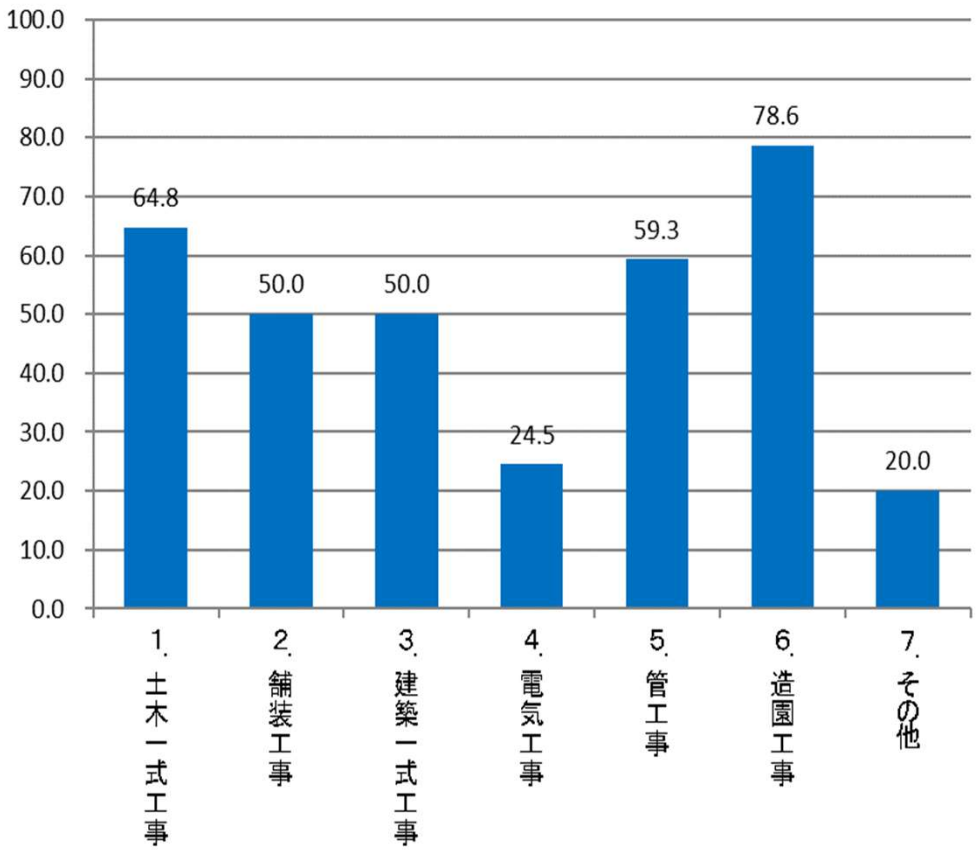
n=331



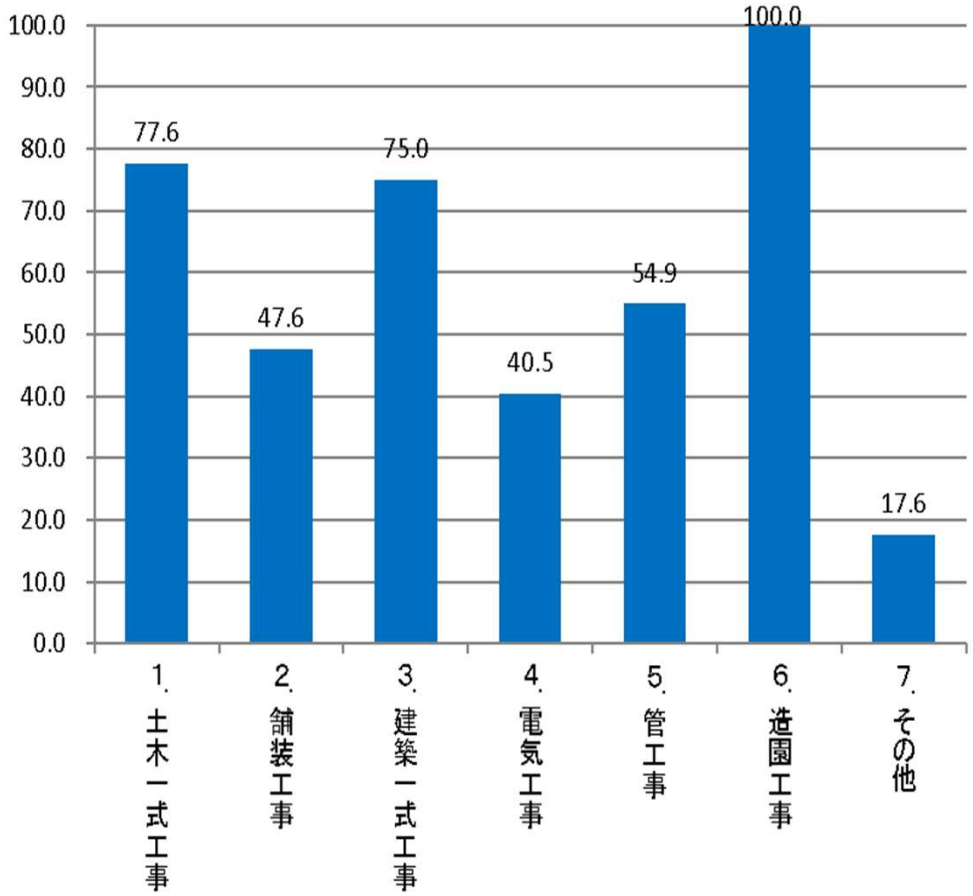
・52.4%の工事で市産品を「使用している」と回答があった。
・市産品の使用率は前年度から減少したものの、半数以上の工事で市産品を利用していることが分かった。

【業種ごとの市産品使用率】

令和7年度



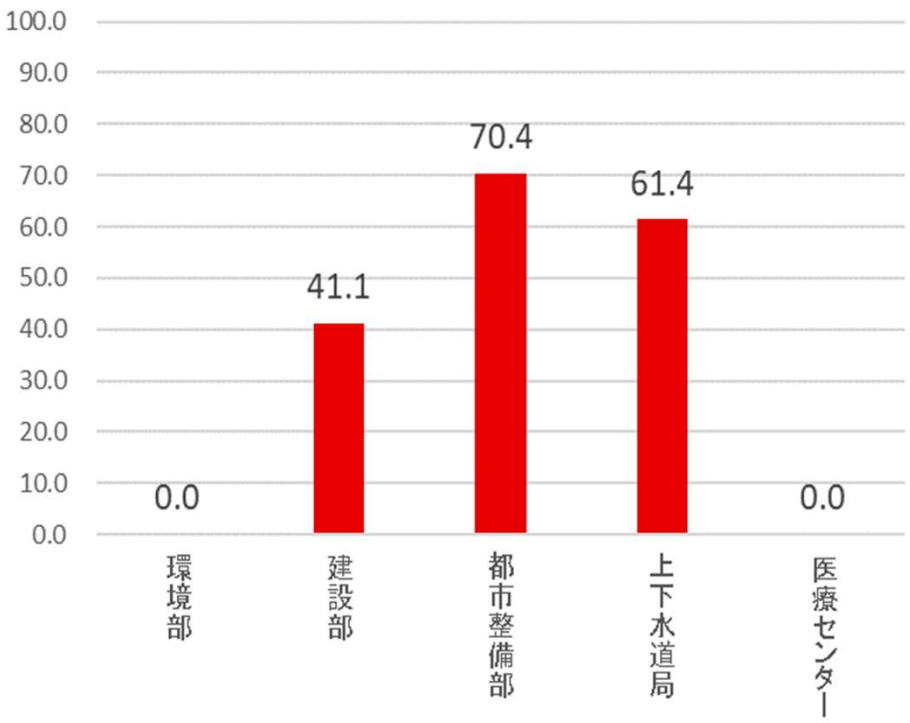
令和6年度



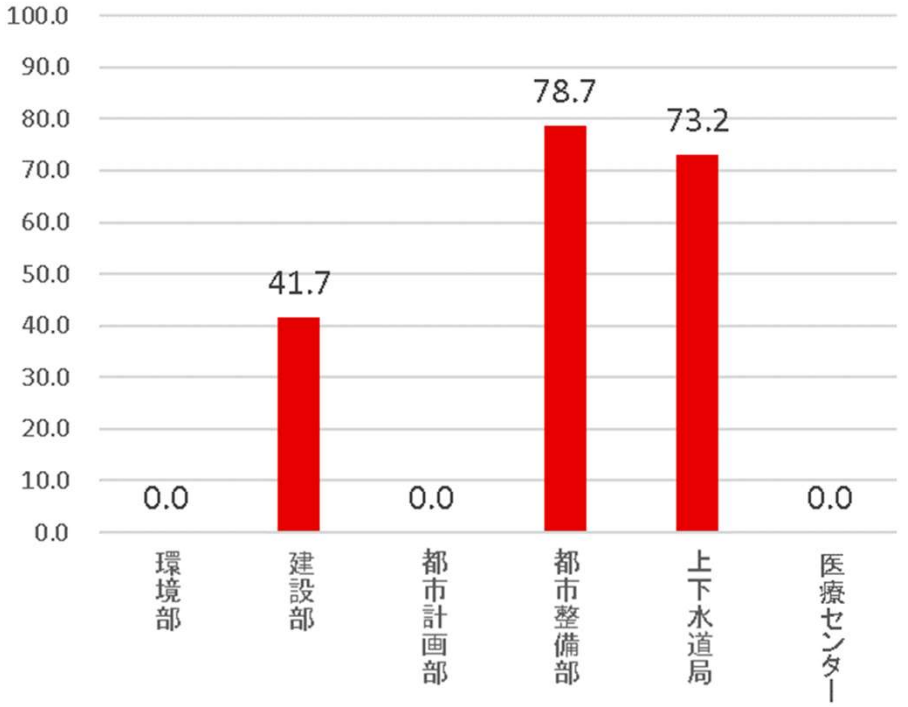
・土木一式工事、造園工事の使用率は昨年より低下したものの、60%以上を保っている。
・舗装工事・管工事は昨年よりも使用率が上昇した。

【部局別の管轄工事に対する市産品使用率】

令和7年度



令和6年度

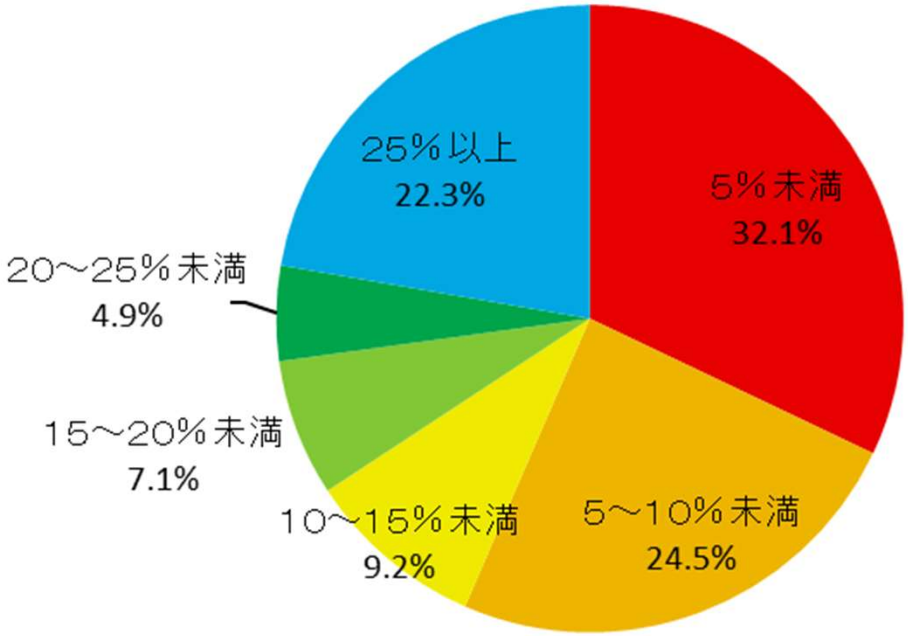


・環境部での使用がなかったものの、都市整備部、上下水道局においての使用率は高水準を保っている。
（都市計画部は赤山歴史自然公園事業が終了したため、Ｒ７年度より調査対象外）

問３：使用した市産品の部材等購入費に占める割合はどのくらいですか？

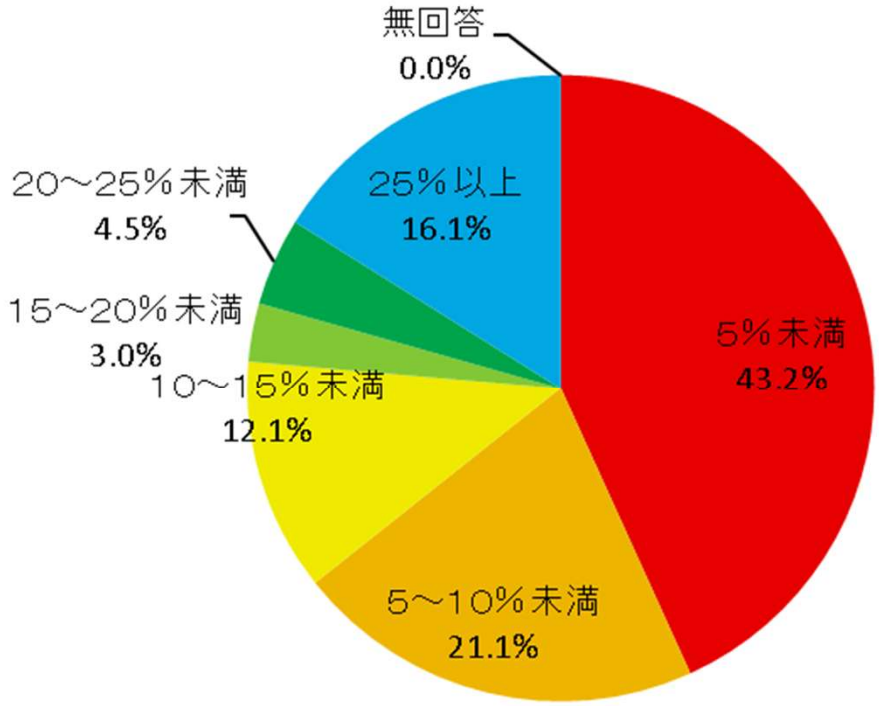
令和7年度

n=184



令和6年度

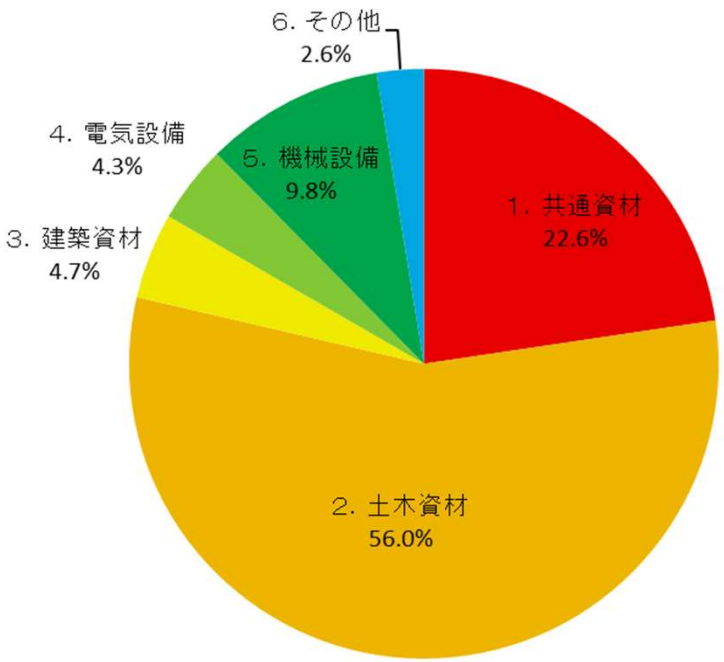
n=199



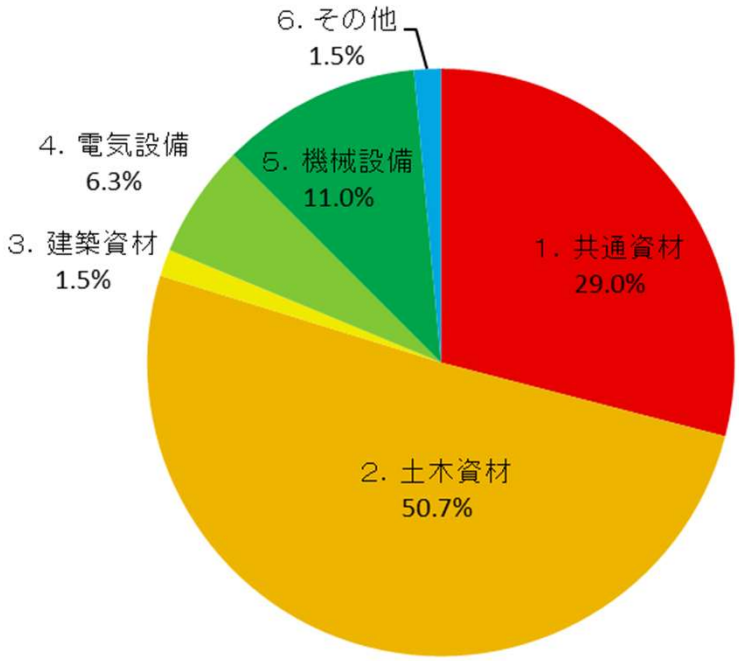
・「５%未満」の回答が一番多く、次いで「５～１０%未満」であった。
・「２５%以上」使用しているとの回答も比較的多く、２割強を占めている。

問４：使用している市産品の資材は何ですか？（複数回答可）

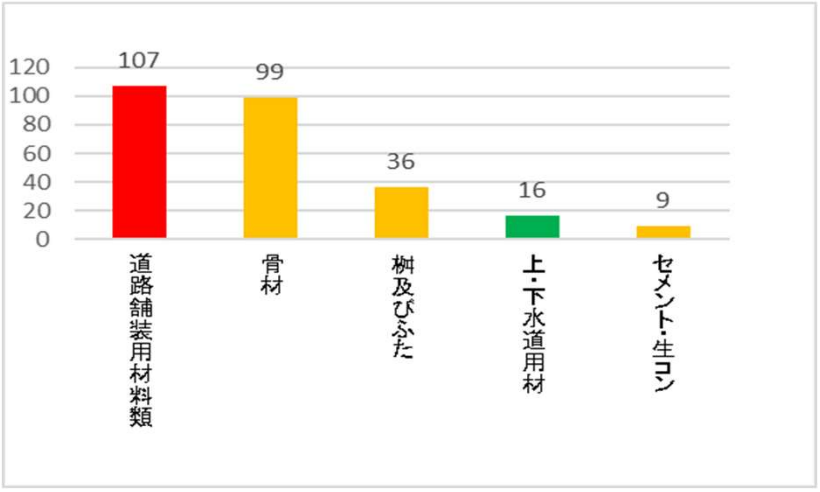
令和7年度



令和6年度



【資材ごとの使用回数＜上位５種＞（令和7年度）】



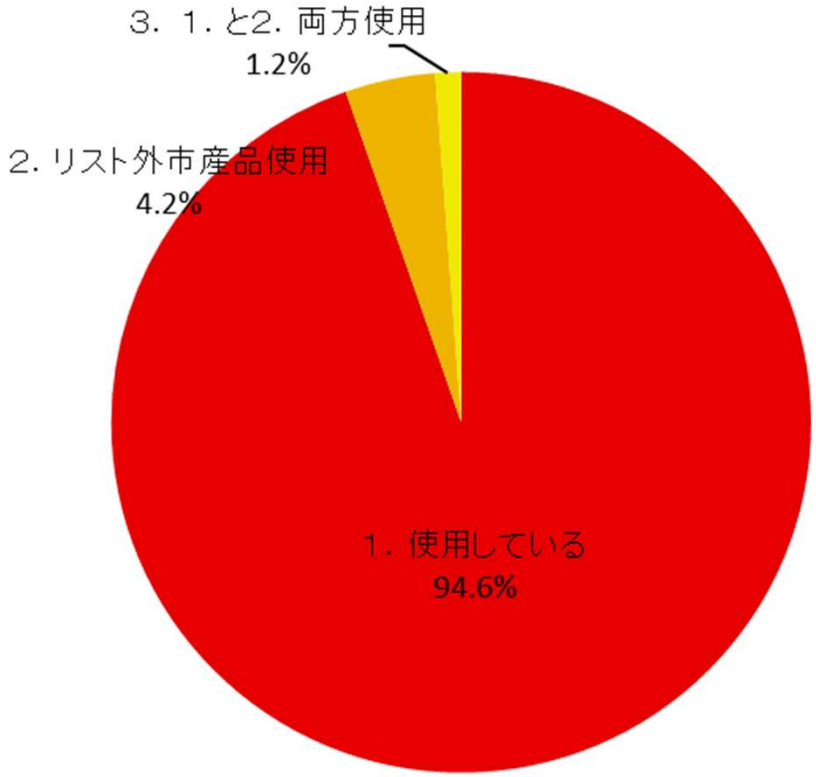
・一番多く使われているのは、「土木資材」であり、使用部材全体の56.0%を占めている。

・また、全資材のなかで「道路舗装用材料類」がもっとも多く使用されている。

問５：「市産品企業・製品リスト」に掲載されている製品を使用していますか？

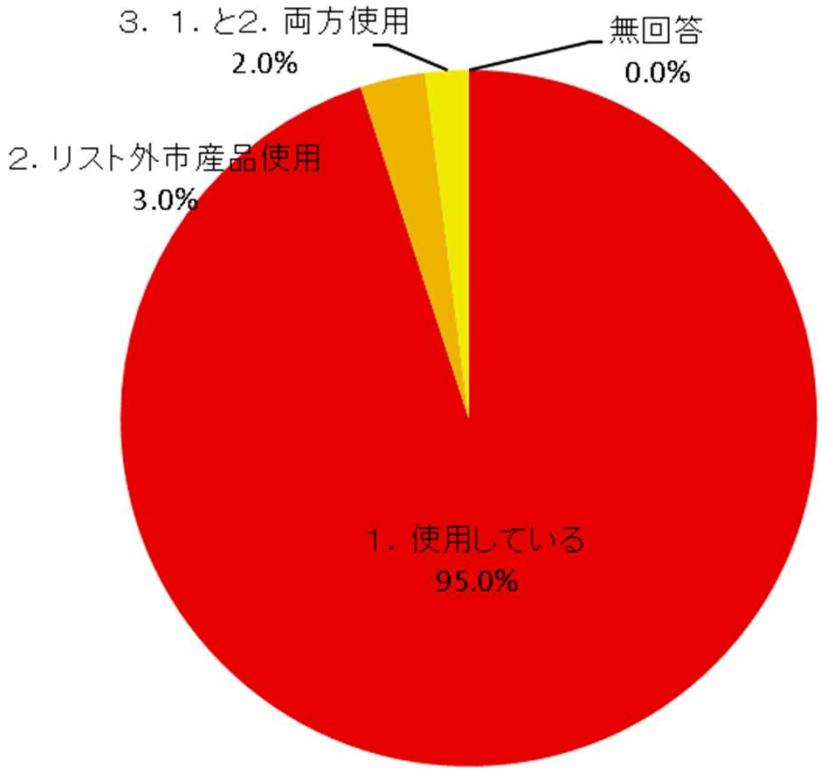
令和7年度

n=168



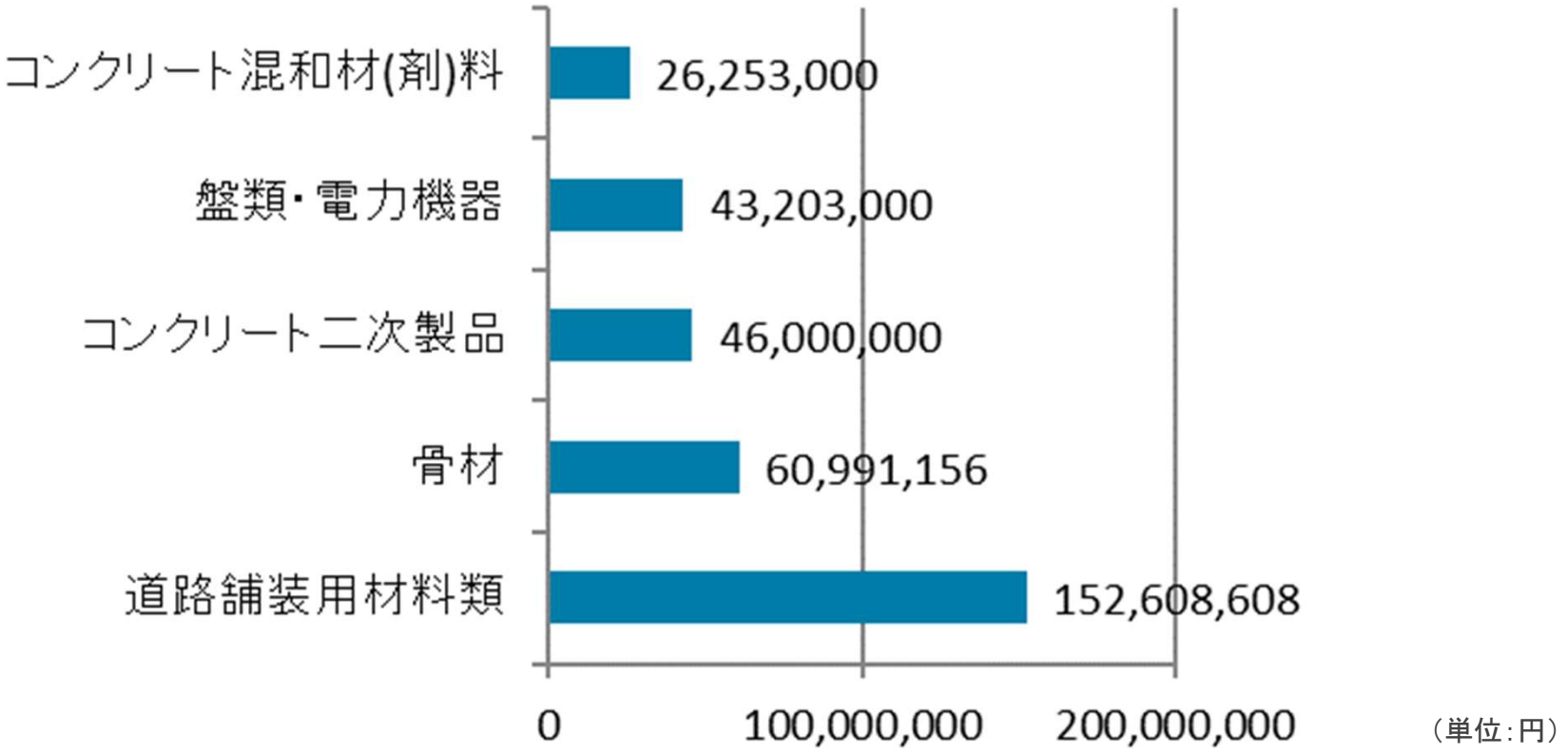
令和6年度

n=199



・市産品企業・製品リストの使用は９割を超える。
　⇒リスト外の市産品については、リストへの登録を促す必要がある。

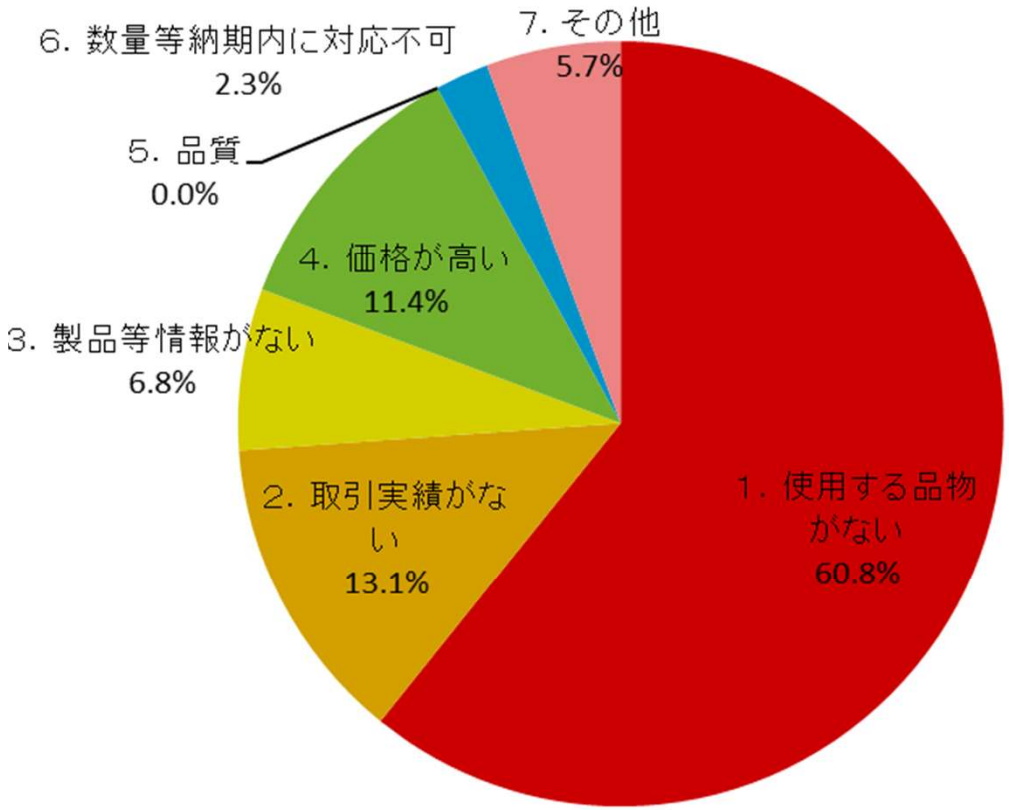
【市産品への使用金額について】



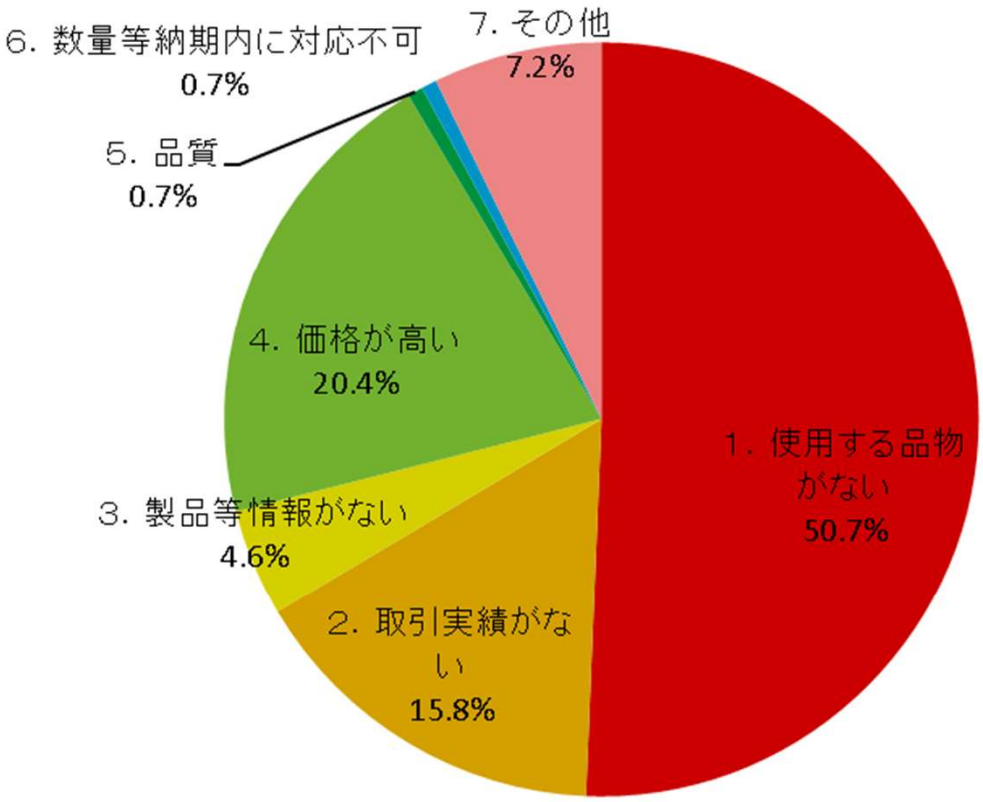
・資材ごとの使用金額上位5種は上記のとおり。
　道路舗装用材料類が、152,608,608円と最も使用金額が高い。
・なお、市産品資材に使用された合計金額は、370,393,795円で、
　そのうち卸売資材は2,486,027円であった。

問６：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

令和7年度



令和6年度



・使用しなかった理由として一番多かった回答は、「使用する品物がない」であった。

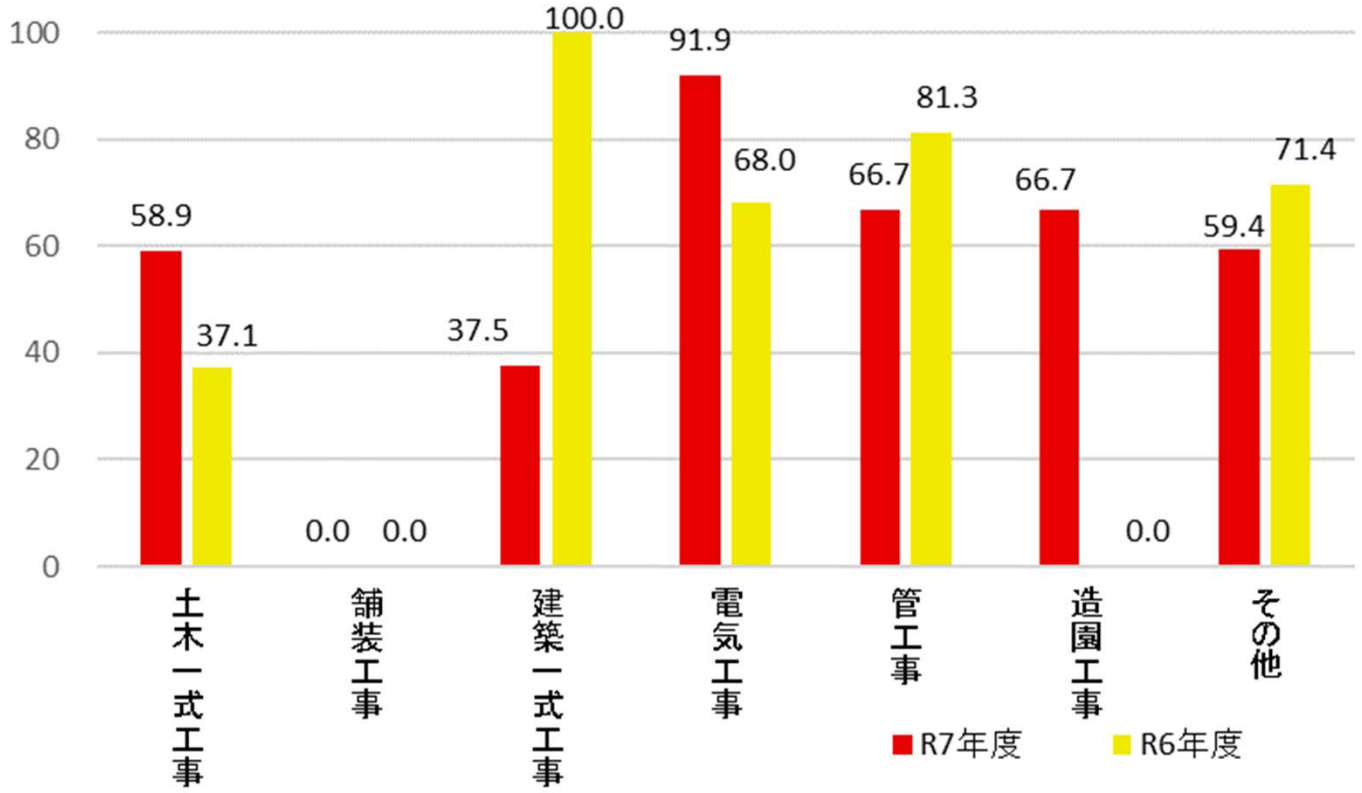
問６：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「使用する品物がない」と回答した業種別割合の前年度比較

【令和6年度】58．3%

【令和7年度】64．1%

+5.8P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

・「使用する品物がない」と回答した割合は前年度比5.8ポイント増。
・舗装工事、建築一式工事以外の工事において、「使用する品物がない」という割合は高い。

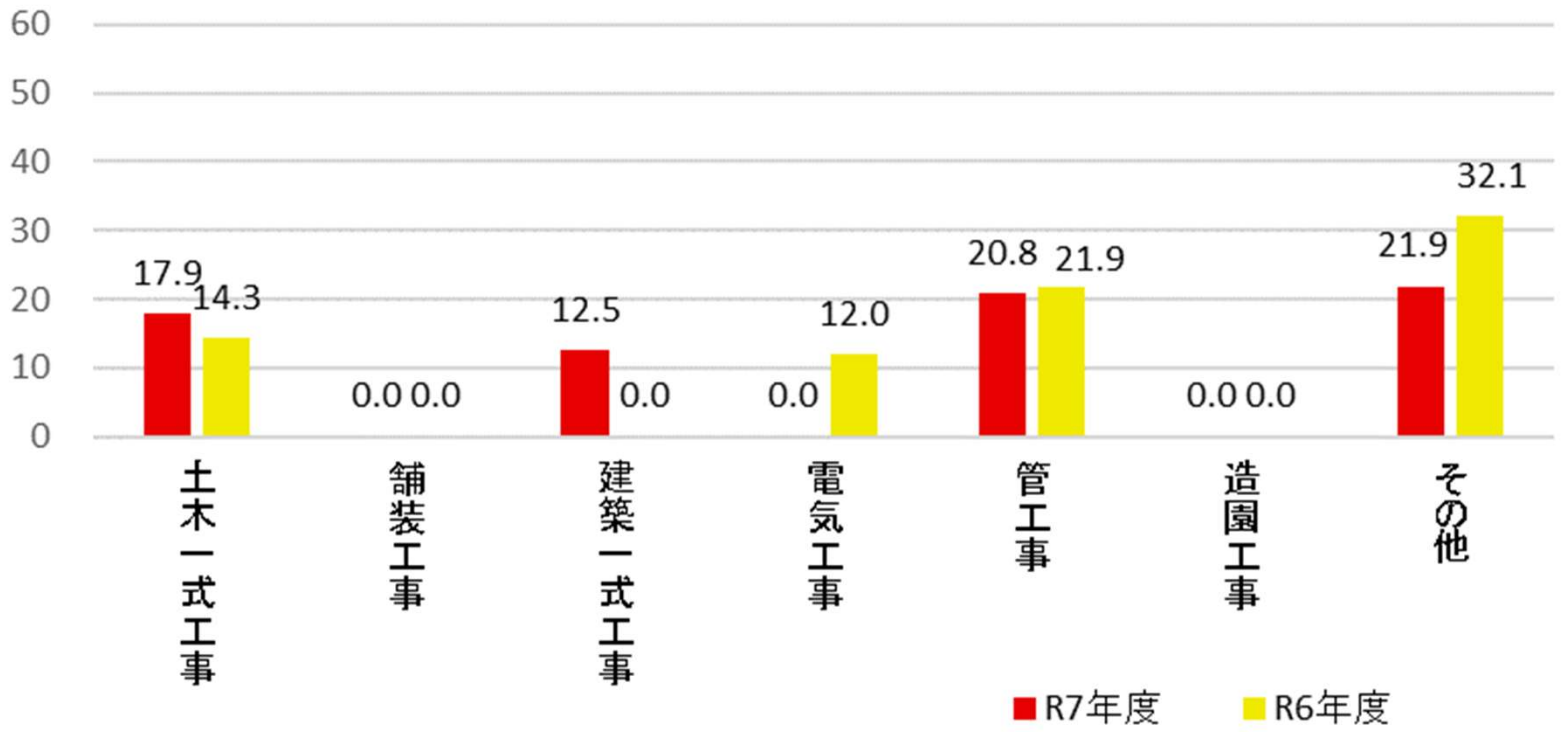
問６：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「取引実績がない」と回答した業種別割合の前年度比較

【令和6年度】 18．2%

【令和7年度】 13．8%

△4.4P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

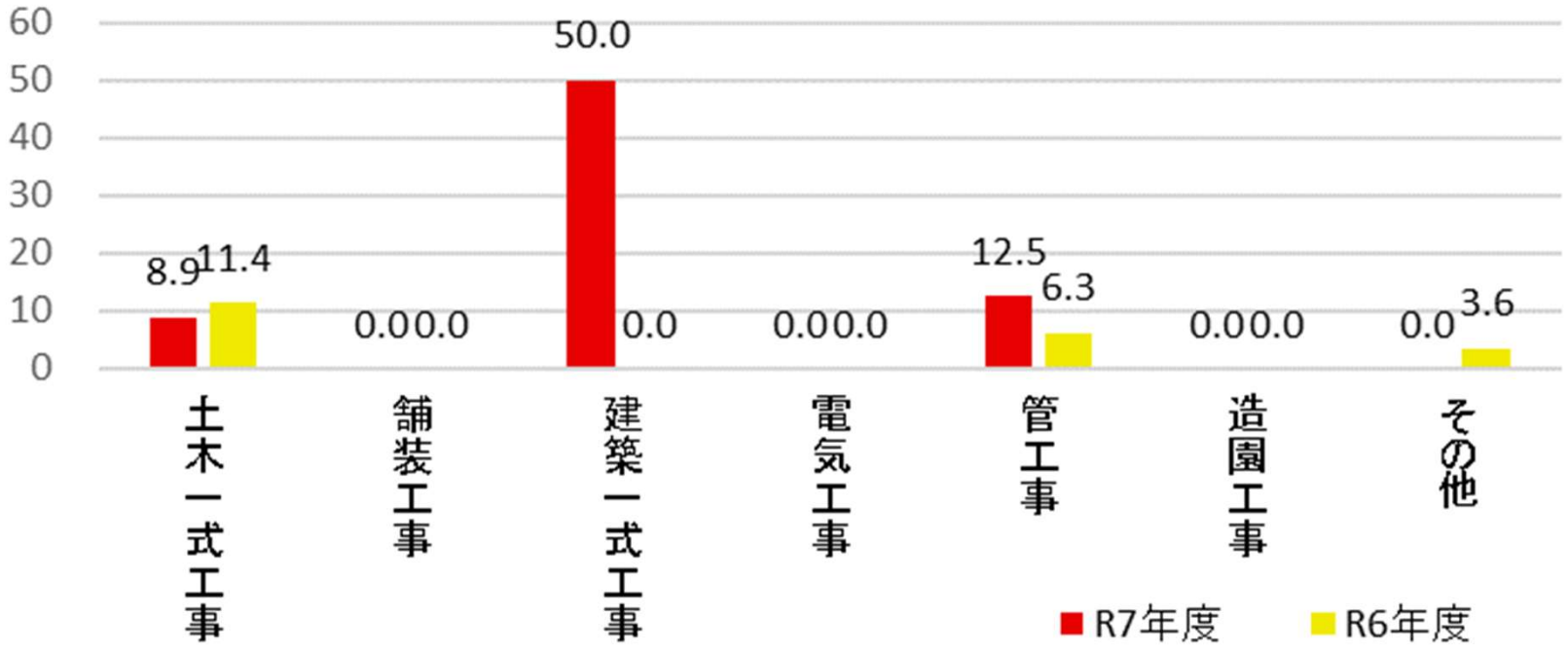
・「取引実績がない」と回答した割合は前年度比4.4ポイント減。
・「舗装工事」「電気工事」「造園工事」においては本項目を理由に市産品を不使用とした工事は無かった。

問６：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「製品等情報がない」と回答した業種別割合の前年度比較

【令和6年度】　5．3%
【令和7年度】　7．2%

+1.9P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

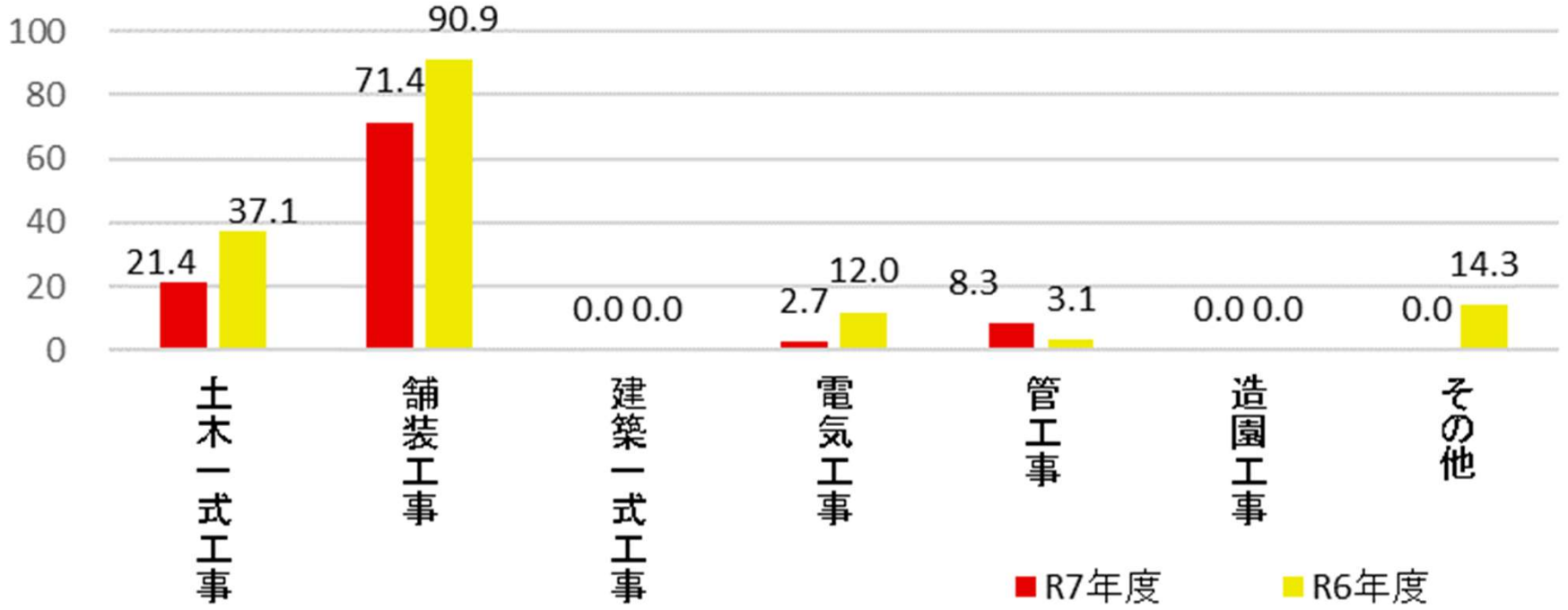
・「製品等情報がない」と回答した割合は前年度比1.9ポイント増。
・「建築一式工事」において割合が大きく増加した。

問６：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「価格が高い」と回答した業種別割合の前年度比較

【令和6年度】 23．5%
【令和7年度】 12．0%

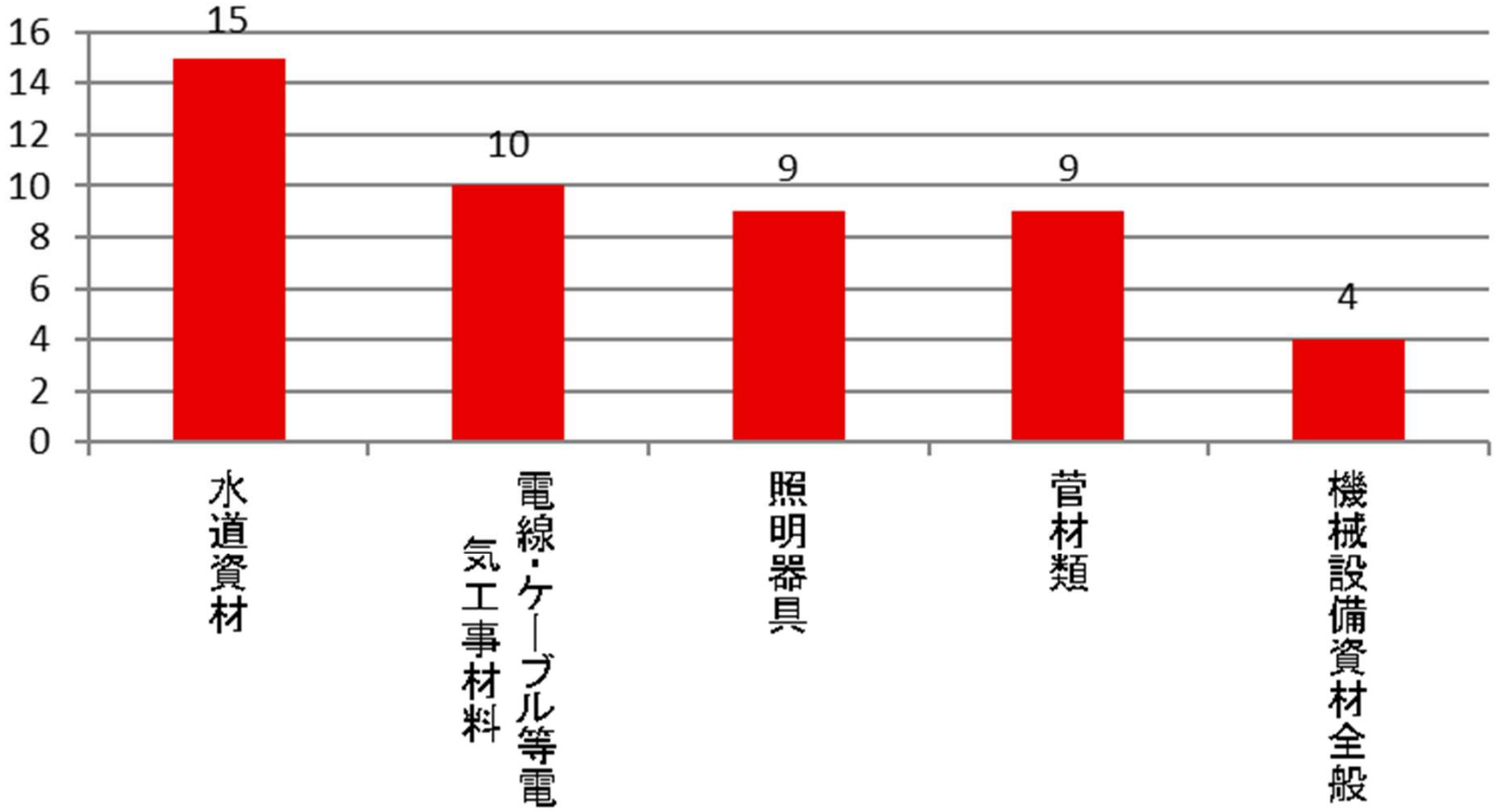
△11.5P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

・「価格が高い」と回答した割合は前年度比11.5ポイント減。
・「舗装工事」においては依然として高い割合だが、「土木一式工事」では改善がみられた。

問７：どんな品物が市産品にあれば利用したいですか？

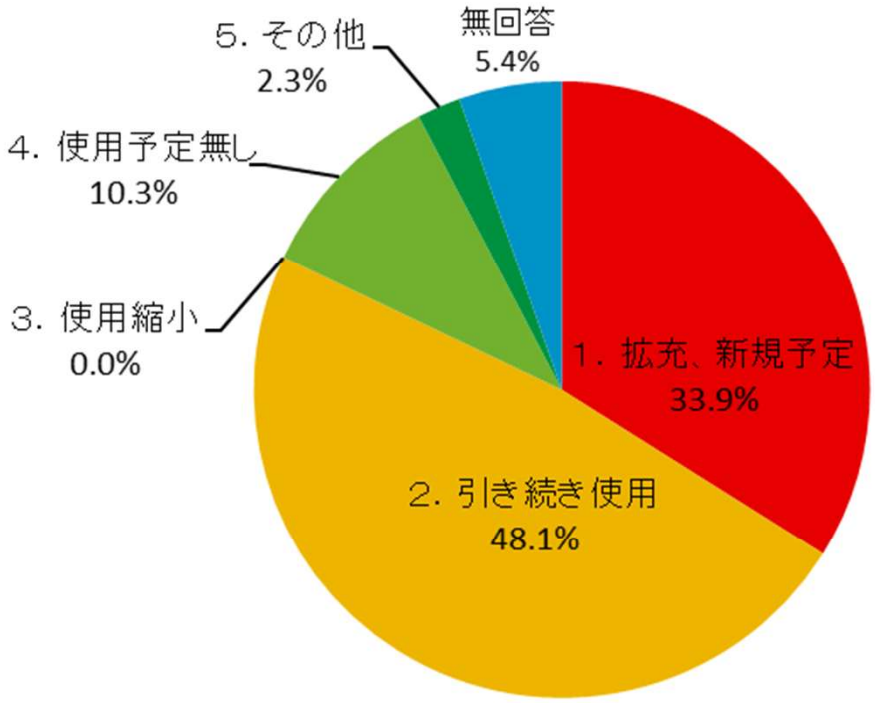


・最も回答が多かったのは水道資材（15件）
次いで、電線・ケーブル等電気工事材料（10件）という結果になった。

問８：今後、市産品の使用を拡充、又は新規に使用する予定はありますか？

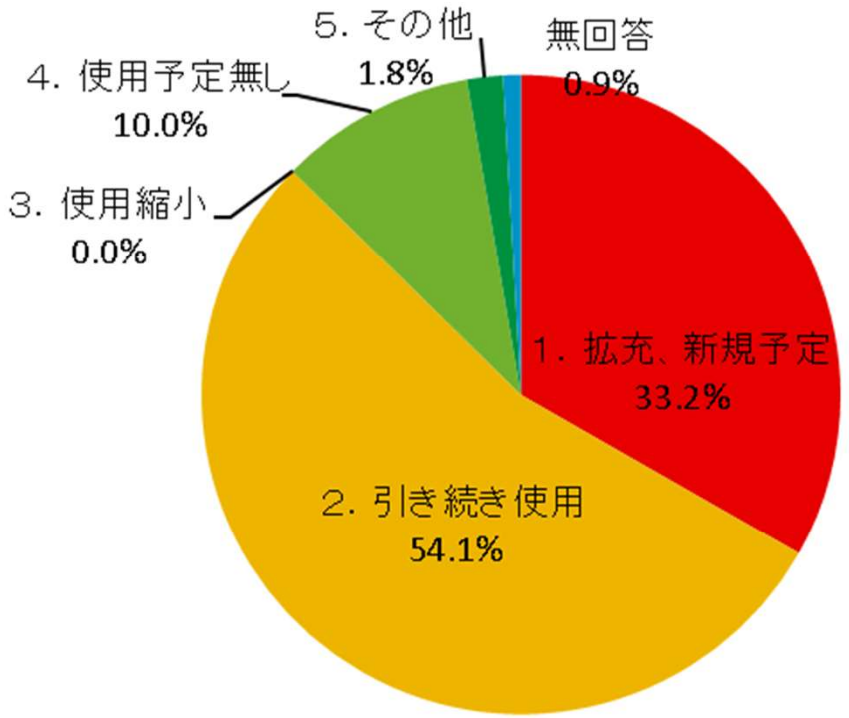
令和7年度

n=351



令和6年度

n=331

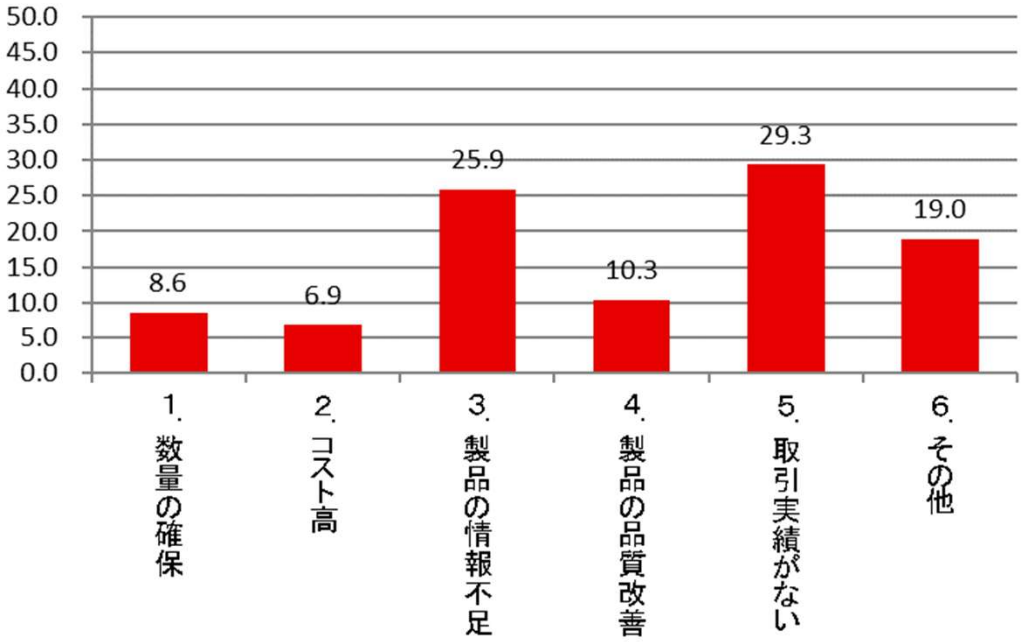


・今後、市産品を「引き続き使用する」との回答が一番多かった。
・「拡充、新規予定」と「引き続き使用」を合わせると82.0%である。

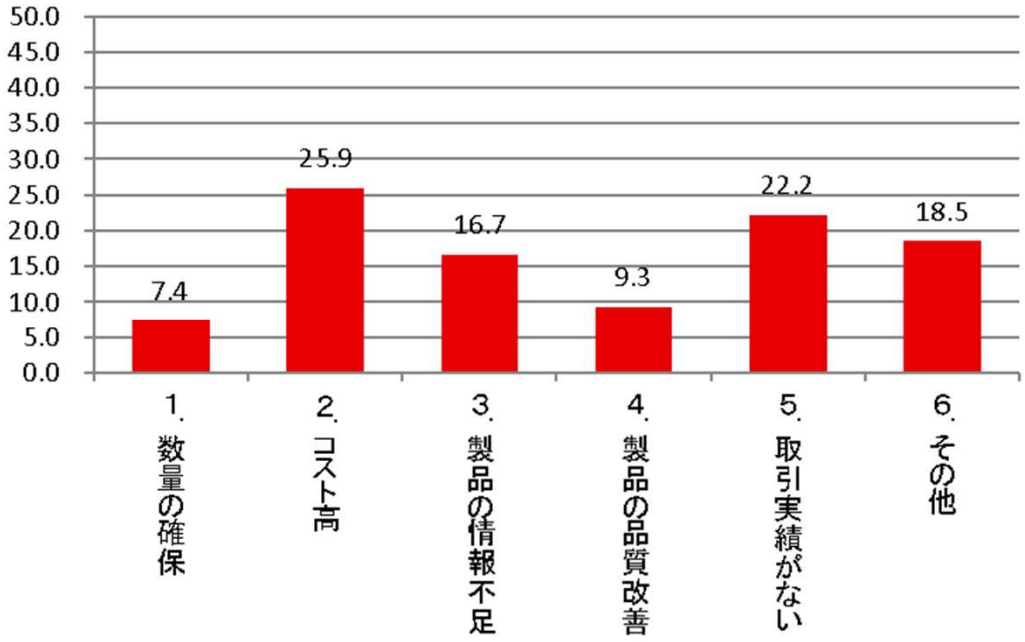
問８：今後、市産品の使用を拡充、又は新規に使用する予定はありますか？

「使用予定なし」と回答した理由の割合

令和7年度



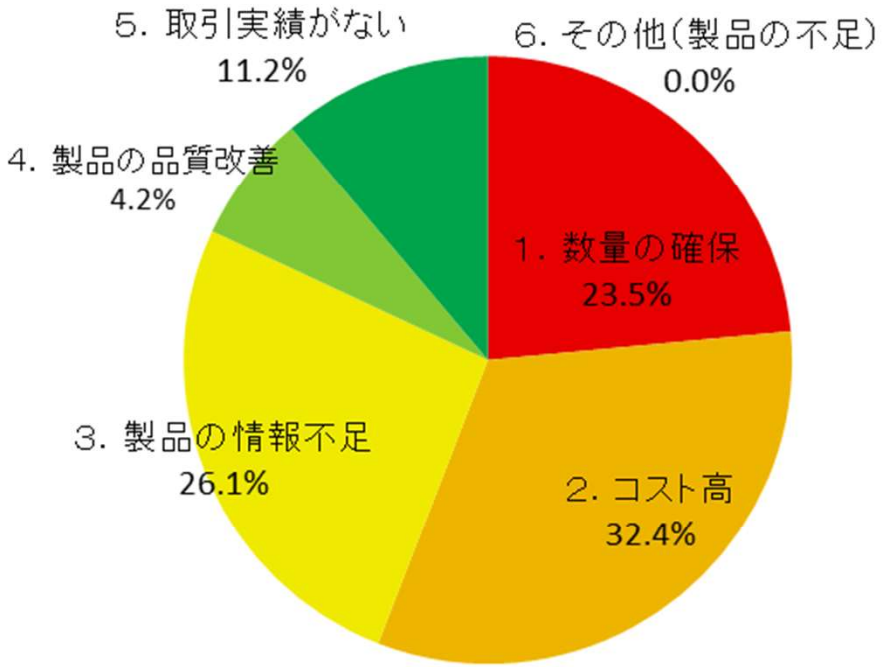
令和6年度



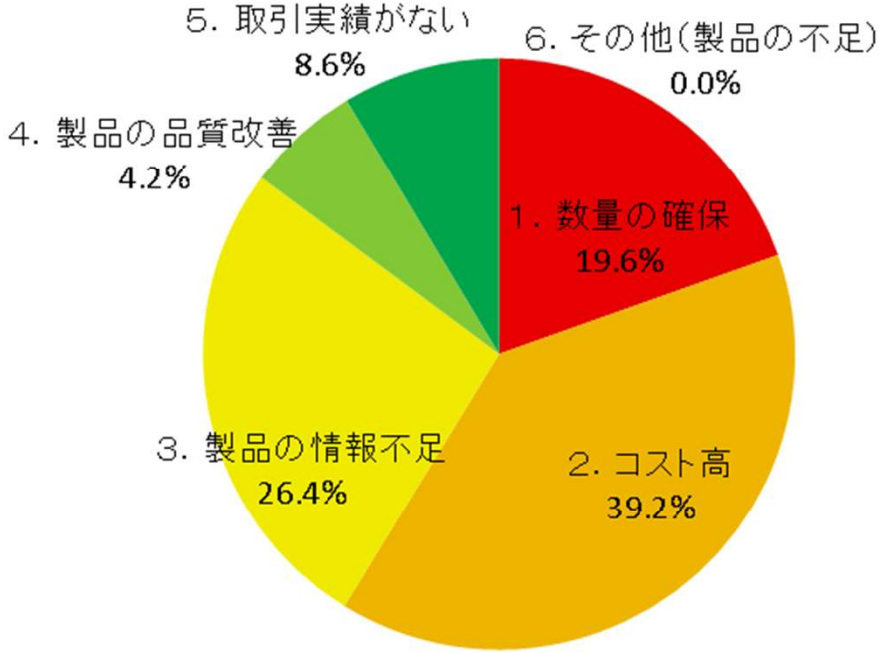
・「取引実績がない」が、引き続き高い割合を示している。
・「コスト高」が大幅に減少した一方、「製品の情報不足」の割合が増加した。

問９：市産品の使用における課題は何ですか？（複数回答可）

令和7年度



令和6年度



・課題として多く回答があったのは、昨年度同様、「コスト高」「製品の情報不足」「数量の確保」であった。
・「数量の確保」が3.9%増加している一方、「コスト高」が6.8%減少していることから市産品の価格競争力は向上したものの、需要増に対応する生産・供給体制の強化が急務になった。

問１０：ご意見・ご感想

【土木一式工事】
・今以上に製品の積極的な価格の改善が必要だと思う。
・閑散期や繁忙期に関わらず、安定した資材の供給体制が必要だと思う。

【電気工事】
・電材メーカーの市内への誘致。
・工事を行うときに、設計図に特記や注意書きでなく、指定して記載してあると採用しやすい。
・市産品を活用することによるメリット（ポイントや特典等）を検討したらどうか。
・市外のメーカー品の製品のほうが施工性が良い、安価であるとの理由から、採用するのに難しい一面がある。

【管工事】
・商品の種類を多くして欲しい。

【その他】
・規定の無い仕様を変更するとき、変更したら、どんな製品自主検査がありJIS 及び国・各自治体の仕様を満たすどうかを知識としてもっていてほしい

今後の対応策

- 市産品使用率の向上
  - ・市外製品より価格が高くても選ばれるよう、川口の工業製品の品質をＰＲしていく。
  - ・市が発注する全ての工事において、設計書に市産品を例示するよう引き続き努める。

- 工事受注業者に対する製品情報の波及
  - ・市内各所へ公共工事における市産品の活用事例を周知する仕組みを構築し、企業情報・製品情報をＰＲする。
  - ・リスト登録事業者に掲載情報の更新を促し、取引実績情報・製品情報の拡充に努め、過去に取引が無くても使用しやすい環境づくりを行う。

- リスト登録事業者へのアンケート結果の周知
  - ・アンケート結果をリスト登録事業者に周知し、工事受注業者の傾向を情報共有する。

- 登録企業数及び製品情報の拡充
  - ・アンケートの結果をもとに、公共工事において需要はあるが市産品リストにおける情報が乏しい製品について、当該製品を製造している市内業者を調査し、登録を促していく。